

令和4年度災害支援コーディネーター養成研修 ～ 中級編 ～ 開催要綱

近年全国各地で自然災害が多発し、その規模も広域化、甚大化しています。そのたびに多くのボランティアが被災地に駆けつけ支援活動を行うなど、災害ボランティア活動が被災者支援の中核を担っています。

これらボランティアの力を支援に活かすため、内閣府から「防災における行政のNPO・ボランティア等との連携・協働ガイドブック～三者連携を目指して～」が示され、平時から災害に備えた体制整備と災害時の効率的・効果的な支援活動の推進が求められています。

本研修は、災害時に開設される“災害ボランティアセンター”の意義と役割を理解し、災害ボランティア活動が円滑に行われるよう、社会福祉協議会、行政、NPO、JCなどの関係団体との連携・協働のもと被災者支援活動を実践できる人材を養成することを目的に開催します。

【研修日程】

日程・会場	受講対象	定員
令和5年1月23日(月) ～ 令和5年1月24日(火) ▶新潟ユニゾンプラザ 4F「大会議室」	「初級」受講修了者又は被災地支援活動の経験がある方。また、災害ボランティアセンターの運営又は運営支援、そのほか、行政等との連携のもと復旧・復興支援活動等を進める役割にある方。 (※新潟県内在住の方に限定させていただきます。)	30名 (定員になり次第 締切ます。)

※研修プログラムは別紙のとおりです。

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、新潟県で警報等が発令され自粛要請等が出された場合は開催を中止する場合があります。開催を中止する場合は新潟県社協ホームページでお知らせいたします。

(新潟県社協ホームページ: <https://www.fukushiniigata.or.jp/>)

受講料

3,000円 (2日間)

※1日受講の場合でも同額です。

研修会当日、受付時に現金にてお支払いください。

お釣りのないよう、予めご準備をお願いいたします。

お申込み方法

下記のURL又はQRコードからお申込ください。

【申込期限: 令和5年1月10日(火)】

URL: <https://qr.paps.jp/oDttQ>



お問合せ先

新潟県社会福祉協議会 地域福祉課

TEL: 025-281-5521 メール: chiiki@fukushiniigata.or.jp

【主催】新潟県災害ボランティア調整会議・新潟県社会福祉協議会

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について

【参加者の皆様へのお願い】

- (1)参加当日に検温し、37.5度以上又は平熱より1度以上高い発熱がある場合は参加をお控えください。
- (2)過去2週間以内に発熱や感冒症状があった場合は参加をお控えください。
- (3)咳エチケットを遵守するとともに、研修中はマスク着用を必須とします。
- (4)研修の前後や休憩時間中は、こまめな手洗い、手指消毒、うがいを推奨します。
- (5)会場内は常時外気を取り入れながらの空調運転を行うほか、定期的な換気を実施します。温度管理ができる服装でお越し下さい。

【事務局における運営・対応】

- (1)受講定員数を縮小し、受講者間の距離を確保します。
(座席は受講者同士一定の間隔をとります。演習(グループワーク等)も、受講者同士の距離を確保した上で実施します。)
- (2)講師、運営スタッフ等も常時マスクを着用いたします。
- (3)会場入り口及び会場内に消毒液等を設置します。また、休憩時等に定期的に会場の換気を実施します。
- (4)複数の人の手が触れる箇所や備品は、適宜消毒を実施します。
- (5)参加者の中で感染が明らかになった場合は、関係機関に必要な情報を提供する場合があります。

個人情報取扱いについて

- (1)「参加申込・エントリーシート」に記載された個人情報は、本研修会の運営にかかる目的にのみ使用し、他の目的で使用することはありません。
- (2)本研修会の参加申込受付を通じて取得した参加申込者皆さまの個人情報は、新潟県災害ボランティア調整会議事務局である新潟県社会福祉協議会が定めるプライバシーポリシー(個人情報の保護に関する方針)に基づき取り扱います。
- (3)参加申込者の同意なしに他の事業者など第三者に個人の情報は提供いたしません。
- (4)取得した個人情報データについては、適切な管理を行います。
- (5)本研修会では「参加者名簿」を作成し、研修参加者に配布いたします。また、「エントリーシート」は受講者や講師とのネットワーク作り等のため、とりまとめの上、研修参加者に配布いたします。

令和4年度災害支援コーディネーター養成研修プログラム（中級編）

【中級研修の対象者・目的】

対象者	社協職員、行政職員、JC 会員、NPO 職員等々で、「初級編」の受講歴を有している方、または被災地支援活動の経験がある方。また、災害時において災害VCの運営又は運営支援、そのほか、行政等との連携のもと復旧・復興支援活動等を進める役割にある方。
目指すところ	<p>“連携”を中心に、中長期で被災地全体を見渡せる視野を持てるようにネットワーク、組織といった部分を含みながら、コーディネーターとしての立ち位置を理解する。</p> <p><人材像></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆災害 VC 全体を統括、調整できる知識と技術を有し、他団体等の外部資源と連携・協働を図りながら円滑な災害 VC 運営ができる。 ◆災害 VC の設置・閉鎖（転換）及び特異な事象にも、総合的かつ冷静に判断できる。 ◆ NPO や行政など災害 VC 等との連携協働を図りながら災害支援活動を計画・実施できる。 ◆復旧から復興に向けて長期的な視点を持ち、支援活動を行うことができる。

★★★ 日 程 ★★★

▼ 1日目 1/23 (月) 新潟ユニゾンプラザ4階 大会議室

タイムテーブル	テーマ及び担当講師
10:00～10:05	開会・オリエンテーション
10:05～10:15 (10分)	<p>「中級研修のねらい」</p> <p>目指す人材像、災害VCや避難所といった様々なフィールド、或いは災害時の各フェーズにおける運営支援者の役割を果たすためにこの研修でどんなことを学ぶのかを共有します。</p> <p>▶講師：野村 卓也（中越防災安全推進機構 コーディネーター）</p> <p style="text-align: right;">【座学】</p>
10:15～11:45 (90分)	<p>「多様なセクターとの連携の必要性和支援者に求められること」</p> <p>市町村域、県域における平時及び災害時の多様なセクターとの連携・協働について理解し、円滑な支援活動を推進するために必要なコーディネーターの役割について考えます。</p> <p>▶講師：園崎 秀治（Office SONOZAKI 代表）</p> <p style="text-align: right;">【座学】</p>
11:45～12:45	昼食休憩（60分）
12:45～13:35 (50分)	<p>「災害における人・物・資金」</p> <p>災害VCの運営を支える人・物・資金の仕組みについて共有します。</p> <p>▶講師：清川 祐介（新潟県社会福祉協議会 主事）</p> <p style="text-align: right;">【座学】</p>
13:35～13:45	休憩（10分）
13:45～14:35 (50分)	<p>「被災地支援活動における感染症対策について」</p> <p>被災地域での支援活動における感染症対策の基本について理解します。</p> <p>▶講師：和泉 邦彦（新潟大学医学部災害医療教育センター 特任講師）</p> <p style="text-align: right;">【座学】</p>
14:35～14:45	休憩（10分）
14:45～16:45 (120分)	<p>「被災避難者を支える」</p> <p>災害VCを通じた避難所運営への支援や避難所に避難しない、或いはできない在宅避難者への支援について、多様なつながりによる連携・協働を考えます。</p> <p>▶コーディネーター：李 仁鉄（にいがた災害ボランティアネットワーク理事長）</p> <p>▶パネリスト：忠 稔（村上市社会福祉協議会 係長） 前原 土武（災害 NGO 結 代表）</p> <p style="text-align: right;">【座学・対談】</p>
16:45～16:55	事務局連絡

▼2日目 1/24 (火) 新潟ユニゾンプラザ4階 大会議室

タイムテーブル	テーマ及び担当講師
10:00～10:15 (15分)	「1日目の振り返り」 1日目の内容を振り返り、共有します。 ▶講師：井上 卓 (日本赤十字新潟県支部 救護・講習係長) 遠藤 元 (新潟市社会福祉協議会 係長)
10:15～11:45 (90分)	「災害ボランティアセンターにおけるIT活用について」 災害ボランティアセンターにおけるIT化の現状、ITや情報の活用によるボランティアや被災者支援活動の効果的推進等について考えます。 ▶講師：李 仁鉄 (にいがた災害ボランティアネットワーク理事長) 【座学】
11:45～12:45	昼食休憩 (60分)
12:45～14:15 (90分)	「ファシリテーション」 会議やミーティングの進行だけでなく、意見やアイデアを引き出し、方向性を見いだすためのコミュニケーション方法等について考えます。 ▶講師：李 仁鉄 (にいがた災害ボランティアネットワーク理事長) 【座学・個人ワーク】
14:15～14:25	休憩 (10分)
14:25～16:30 (125分)	「事例検討」 災害ボランティアセンターの運営に際し、実際起こり得る課題についてワークを行いながら、その解決方法や対応について考えます。 ▶講師：阿部 直実 (魚沼市社会福祉協議会 係長) 井上 卓 (日本赤十字新潟県支部 救護・講習係長) 遠藤 元 (新潟市社会福祉協議会 係長) 倉島 真孝 (阿賀野市社会福祉協議会 主査) 新保 絵梨 (くびき野NPOサポートセンター 主任) 野村 卓也 (中越防災安全推進機構 コーディネーター) 【座学・個人ワーク】
16:30～17:00 (30分)	「中級2日間の振り返り」 中級研修全体の振り返り、そのほか質疑応答を行います。 ▶コメンテーター：李 仁鉄 (にいがた災害ボランティアネットワーク理事長) 【座学】

※プログラムは一部変更になる場合がございます。